

中小企業組合等支援施策情報

あきた中小企業みらい応援ファンド事業(助成金)の募集!

～公益財団法人あきた企業活性化センター～

秋田県内の大学、工業高等専門学校、又は公設試験研究機関との共同研究によって、高度技術又は新製品の開発や高度技術を利用した製品の高付加価値化、生産工程の合理化、地域資源の開発などに取り組むことを促進するため、事業経費の一部を助成するものです。

助成対象者

秋田県内に主たる事務所・事業所を有する中小企業者の方

※事業協同組合・商工組合・協業組合・企業組合・商店街振興組合も対象になります。

事業区分・助成率・助成限度額

◆高度技術産業集積地域型

助成対象者のうち、秋田市に主たる事務所・事業所を有する中小企業者の方

助成率300万円・助成限度額3/4

◆一般地域型

助成対象者のうち、秋田市以外に主たる事務所・事業所を有する中小企業者の方

助成率250万円・助成限度額2/3

助成対象経費

原材料費・副資材費、構築物費、研究開発のみに用いる機械装置・工具器具費、外注加工費、技術導入費、技術情報取得費、その他必要と認められる経費

※外注費に対応する助成金の合計額は助成金全体の1/2以内

応募方法

募集要項・申請書等はウェブサイトから電子データを入手し、ご確認ください。

(<http://www.bic-akita.or.jp>)

応募締切日

平成31年2月6日(水)午後5時15分必着

※応募要件に合致しているかどうか、事前に内容を確認しますのでウェブサイト上の募集要項・募集にあたっての注意事項をご覧ください、応募締切日の概ね2週間前までに事前相談申込書を提出のうえ、必ず事前相談を受けてください。

お問い合わせ先

◆秋田県産業労働部地域産業振興課
地域産業活性化班

☎018-860-2231

◆公益財団法人あきた企業活性化センター
経営支援部設備・研究推進課

☎018-860-5702

インフォメーション

【退職職員のお知らせ】

本会商業振興課主事深沢さやかさんが12月31日をもって退職いたしました。

深沢さんは、10年9ヶ月間にわたり県内の組合・業界の育成・支援に力を尽くされ、本会の発展に大きく貢献されました。

今後、益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

中央会職員コラム

本会では、皆様に中央会の職員をより身近に知っていただくため、「中央会職員コラム」を連載しております。どうぞご覧ください。

総務企画部の藤田です。会員組合の役職員の皆様には日頃より大変お世話になっており、この場を借りて御礼申し上げます。

総務企画部の仕事ですが、一般的に言われている総務の仕事の他に、経理、秘書、庶務、広報、調査、その他雑用全般といった多岐に亘る業務を受け持っております。ふがいない上司を6名の職員の皆さんが必死で支えて頂いているお陰で、何とか成り立っている状況です。

さて、昨今は有効求人倍率が過去最高を記録するなど景気の回復・拡大が戦後最長で続いていると言われておりますが、私が中央会にお世話になった期間の大半は不況・デフレの時代でした。

私が中央会に転職した年の秋に、山一証券が破綻し自主廃業に追い込まれた、その後メガバンクと呼ばれた大手銀行の破綻・合併のニュースが世間を騒がせました。国は、護送船団方式による金融機関の保護を見直し、規制緩和のもとで競争の時代となりました。

このような流れ中で、1999年の中小企業基本法の抜本的な改正により、中小企業支援における基本理念が「従来の救済型」から「自立支援型」に移行され、中央会の財源をはじめ様々な支援活動において改革の波が押し寄せたことは記憶に新しいところです。

今後は、会員数が激減してしまった失われた20年を取り戻すべく、今一度県内企業の皆様との対話を増やし、今の時代に必要とされる「組織化」の在り方について考え直していきたいと考えています。

最後になりますが、プライベートでは今年結婚25年(銀婚式)を迎えます。子供たちがほぼ独立しましたので妻と一緒に温泉や美味しい物を求めてのドライブを楽しみたいと思っております。どこかで見かけましたら声をかけて頂ければ幸いです。



【記 総務企画部長兼総務企画課長 藤田 実】